

平成25年度 (第9期) 事業報告

平成25年度 (第9期) 決算報告

平成26年度 (第10期) 事業計画

平成26年度 (第10期) 予 算

株式会社野田自然共生ファーム

第 9 期 事 業 報 告

自 平成 2 5 年 4 月 1 日

至 平成 2 6 年 3 月 3 1 日

江川地区においては、自然と共生する環境保全型農業を推進するため、引き続き休耕田の復田作業や薬剤を減らした環境に優しい水稻の生産を行うとともに、水田型市民農園の運営及び自然環境維持管理業務、コウノトリ飼育事業に取り組んでまいりました。

船形地区においては、生産調整事業である麦及び大豆の生産・販売を行ってまいりました。農業受託事業としては、野田市堆肥センター運營業務、小船橋水辺公園管理業務、東葛飾地域農林業センター運營業務等を行ってまいりました。

なお、農業経営については、効率的経営に努め、安定経営を目指してまいりました。その結果、麦及び大豆につきまして平年以上の収穫量を得ることができました。

1 江川地区の農業事業

(1) 水稻の生産

約 8. 5 ヘクタールの田んぼに作付けを行い、4 月 2 9 日の田植えから、水管理と除草作業を主に行い、9 月 1 日に稲刈りを開始しましたが、同時期に降雨が多く刈取り作業は難航し、予定した収穫量を得ることができませんでした。結果は次のとおりです。

品 種 名	収 穫 量	JA 出荷米	市民農園配布	その他
コシヒカリ	10, 556. 6kg	2 等 8, 537. 4kg 3 等 336. 6kg	1, 652kg	30. 6kg
合計	10, 556. 6kg	8, 874. 0kg	1, 652kg	30. 6kg

(2) 市民農園

市民農園はファミリー型、オーナー型の 2 種類を企画し田植えから、草取り、稲刈りまでの技術指導や自然体験イベント、ホテル観察会、収穫祭等を行い、自然環境に配慮した市民農園を運営してまいりました。前年度に比較し参加者は減少しましたが、地元の 2 小学校の体験学習 (7 3 0 m²・約 4 0 名) を含めると、約 3 5 0 人の市民農園の運営ができました。

水田ファミリー型	水田オーナー型
1 7 1 区画	1 5 区画
公募による一般市民及び賛同者 (1 区画当り 30 m ²)	NPO ちば支援センター 自然保護団体関係者等 (1 区画当り 150 m ²)
1 7 1 名	1 4 1 名
合計	3 1 2 名

(3) 自然環境維持管理作業

江川地区の自然環境調査、自然に配慮した農園の維持管理作業、自然環境を考慮した米づくりの実施等について、野田市の策定する「自然環境保護対策基本計画」に基づき維持管理を行いました。

(4) 体験学習

福田第一小学校 5・6 年生、福田第二小学校 5 年生の児童合計で約 4 0 名を対象田植え・生育調査・稲刈りを体験学習として実施いたしました。(約 730 m²)

2 船形地区の農業事業

農業生産事業

農業生産調整事業である麦及び大豆の生産・販売については、東葛飾農業事務所の協力を得て、栽培基準に基づき作業管理を行うとともに、従業員の研修を通し、品質及び収穫量の向上並びに栽培技術のレベルアップを図ってまいりました。

また、放射能濃度測定については、JAちば東葛が実施し安全が確認されました。

(1) 農地利用集積事業

平成25年産麦の集団転作事業に基づき、約54.6ヘクタールの農地を船形互助転作組合との協議により借地いたしました。

借地期間：船形の農地を3地区のブロックローテーションとし、毎年10月1日から翌年9月30日までの1年間借用。

(2) 麦の生産

① 平成25年産麦の収穫については、6月から7月にかけて収穫しました。結果は次のとおりです。

区 分		JA出荷 (kg)	種子用 (kg)	ク ズ (kg)	収穫量 (kg)
品 種	作付面積				
大麦(カシマ麦)	14.7ha	39,000	1,300	1,700	42,000
小麦(農林61号)	45.0ha	108,000	0	1,000	109,000
合 計	59.7ha	147,000	1,300	2,700	151,000

②平成26年産として11月から12月にかけて、大麦(カシマ麦)は5.2ヘクタールに、小麦(さとのそら)は55.8ヘクタールに播種しました。

(3) 大豆の生産

大豆の生産については、7月にタチナガハ、8月にフクユタカを播種し、11月後半から12月後半にかけて収穫しました。結果は次のとおりです。

区 分		販 売(kg)		種子用 (kg)	ク ズ (kg)	収穫量 (kg)
品 種	作付面積	JA出荷	小売			
タチナガハ	19ha	28,751	999	2,004	2,625	34,379
フクユタカ	14ha	22,041	977	1,670	1,675	26,363
合 計	33ha	50,792	1,976	3,674	4,300	60,742

3 農業受託事業

(1) 野田市堆肥センター運營業務委託事業

廃棄物の発生抑制、再利用を促進するため、剪定枝、刈草、落葉を活用して良質な堆肥を生産し、化学肥料の減量等による環境保全型農業を推進することにより、付加価値のある持続性の高い農業を展開するための施設の運営管理を行ってまいりました。

もみ殻と牛ふんを使った有機堆肥の生産と運搬散布を行い、また、1月は稲わら牛ふん堆肥の試験的な散布を行うなど、市独自の有機堆肥を使って生産した農産物のブランド化を推進するため適切な施設管理を行ってまいりました。

搬入量

- ・もみ殻回収量・・・・・・・・・・約 681トン
- ・剪定枝・刈草・落葉搬入量・・・・・・・・約4,341トン

搬出・運搬量

- ・剪定枝等堆肥の搬出量・・・・・・・・約 1, 0 5 5 トン
- ・もみ殻牛ふん堆肥の運搬量・・・・・・・・約 8 8 9 トン
- ・稲わら牛ふん堆肥の散布量・・・・・・・・約 1 2 2 トン

(2) 小船橋水辺公園管理業務委託事業

小船橋水辺公園管理業務については、市民の憩いの場としてレクリエーションや休憩など気軽に利用できる施設管理を行ってまいりました。

園内の管理 受託面積 約 1. 3 ヘクタール	
除草・芝刈	芝生の刈取りと雑草の除草作業を年 2 回実施
高木の剪定	枝の剪定と整枝、片付け作業を年 1 回実施
園内の清掃	駐車場、トイレ、園路の清掃を週 1 回実施
公園の巡回	いたずら防止等園内の巡回を週 2 回実施

(3) 東葛飾地域農林業センター施設管理業務委託事業

農林業センターの目的は、地域農林振興を図り、農林業者の研修、後継者の育成並びに交歓、相談等地域農林業の向上と自主性を図るとともに、農林業諸施策を円滑に推進することから、目的達成のため施設の管理を行ってまいりました。

4 補助金関係

- (1) 畑作物の直接支払交付金における営農継続支払の交付金
麦及び大豆の生産量を基に換算した栽培面積に対する交付金
- (2) 米の直接支払交付金及び米価変動補填交付金
江川地区のコメの作付け面積に対する交付金
- (3) 水田活用の直接支払交付金
船形地区の互助転作の麦及び大豆の作付け面積に対する交付金
- (4) 畑作物の直接支払交付金における数量払い
麦の生産量と品質区分ごとに設定した単価による交付金
- (5) 水田活用の直接支払交付金
麦を作付けした面積に対する交付金
- (6) 畑作物の直接支払交付金における数量払い
大豆の生産量と品質区分ごとに設定した単価による交付金
- (7) 環境保全型農業直接支払交付金
江川地区における冬期湛水実施水田 2. 2 ヘクタールに対する交付金
- (8) 転作定着化促進事業補助金
野田市農業再生協議会からの補助金
- (9) 集団転作推進対策事業補助金
江川地区の保全管理に対する補助金
- (10) 病虫害防除薬剤購入費用補助金及び地上防除奨励金
麦及び大豆用薬剤購入費用と防除奨励金

5 コウノトリ飼育及び飼育施設管理業務委託事業

平成 2 5 年 4 月 1 日から平成 2 6 年 3 月 3 1 日までコウノトリ飼育等業務を受託し、産卵、孵化、育雛等、国の特別天然記念物コウノトリの飼育管理、飼育施設の管理、視察や見学者の対応などを行いました。

また、飼育員の知識や技術向上のための各種研修に参加しました。

適切な飼育管理を行った結果、平成25年8月には2羽の幼鳥が巣立ちし、平成26年2月1日の「コウノトリと共生するシンポジウム2014」で開催された命名式において、オスの幼鳥が「つばさ」、メスの幼鳥が「サクラ」にそれぞれ命名されました。

また、親のコウくん、コウちゃんの次期繁殖に備え、11月には一斉捕獲を行い血液等の検査後、親は公開ケージに、幼鳥は非公開ケージで飼育を開始いたしました。

しかし、2月の豪雪により公開ケージの一部が破損したことから、親鳥は別の非公開ケージに移し、一般公開を中止しましたが、環境の変化による支障もあまり見られず、その後も繁殖行動を続けております。

6 講習会等への参加

業務の健全な運営のため、各種技能講習を受講致しました。

- ①車両系建設機械運転技能講習・・・6人
- ②フォークリフト運転技能講習・・・1人
- ③刈払い機安全衛生教育・・・・・・・・5人
- ④柏労働基準協会講習会・・・・・・・・9人
- ⑤大型特殊免許・・・・・・・・2人
- ⑥コウノトリ飼育育雛講習・・・・・・・・2人
- ⑦コウノトリソフトリリース研修・・・2人
- ⑧車両系建設機械安全教育（再教育）・3人
- ⑨車両系建設機械特例講習・・・・・・・・9人
- ⑩千葉県農薬管理指導士研修・・・・・・・・3人
- ⑪コウノトリ一斉捕獲研修・・・・・・・・6人
- ⑫水田魚道設置指導者全国研修会・・・1人
- ⑬地域再生実践塾・・・・・・・・1人
- ⑭農研機構難防除雑草の脅威と対策・・・1人

7 ホームページについて

事業PRを実施するため、適時更新を行いました。

8 機械稼働状況

機種	積算時間	稼働時間	主な作業内容
トラクターUS40	3,047	447	耕運・播種作業等
コンバインCA750	1,800	111	収穫作業
コンバインGC980	908	165	収穫作業
コンバイン4条GC441	451	40	収穫作業
トラクターEG441	1,318	596	耕運作業等
トラクターEG445	1,290	560	耕運作業等
トラクターCT226（1号機）	1,540	182	復田作業等
トラクターCT226（2号機）	823	122	復田作業等
乗用管理機キセキ	1,803	99	薬剤散布作業

乗用管理機丸山	177	177	薬剤散布作業
田植機VP1-PW(2台)	1台 約50時間		稲の植え付け作業

9 取締役及び他の役員

区 分	氏 名	備 考
代 表 取 締 役	根本 崇	野田市長
常 務 取 締 役	木全 敏夫	
取 締 役	金子 茂夫	野田市民生経済部長
取 締 役	徳嵩 公明(H25.4.30まで)	野田市都市部長
取 締 役	町田 藤夫(H25.6.1から)	野田市都市部長
取 締 役	瀬能 建市	
取 締 役	伊藤 敏弘	
取 締 役	齋藤 克巳(H25.7.31まで)	
取 締 役	鬼頭 敏夫	
取 締 役	佐賀 悦男	
会 計 参 与	秋葉 芳秀	税理士
監 査 役	栗林 徹	税理士

10 株式の状況(平成26年3月31日現在)

(1) 株主数…………… 6名

(2) 株主

株 主 名	持 株 数	持株比率
千葉県野田市	6,206株	99.9195%
瀬能 建市	1株	0.0161%
伊藤 敏弘	1株	0.0161%
木全 敏夫	1株	0.0161%
佐賀 悦男	1株	0.0161%
鬼頭 敏夫	1株	0.0161%

10 経過概要

4月6、7日	(土)	市民農園説明会
4月28日	(日)	市民農園田植え 約260人
4月30日	(火)	大麦赤カビ病予防の殺菌剤散布作業開始
5月7日	(火)	福田中学校スペシャルスタディ
5月9日	(木)	コウノトリ産卵
5月10日	(金)	大麦赤カビ病予防の殺菌剤散布作業終了
5月11日	(土)	コウノトリ産卵(2卵目)
5月13日	(月)	小麦赤カビ病予防の殺菌剤散布作業開始 コウノトリ産卵(3卵目)
5月14日	(火)	福田中学校スペシャルスタディ
5月15日	(水)	コウノトリ産卵(4卵目)
5月21日	(火)	定時取締役会(取締役の辞任・第8期事業報告及び計算書類の承認・株式の譲渡承認請求・取締役候補者の選定・定時株主総会の招集) 定時株主総会(第8期事業報告・第8期計算書類の承認・取締役1名の選任・役員報酬の決定)
5月22日	(水)	小麦赤カビ病予防の殺菌剤散布作業終了
5月31日	(金)	農業体験薩摩芋苗定植活動に協力 船形水辺こども農園にて
6月9日	(日)	コウノトリ孵化確認する(状況から8日孵化と推察する)
6月11日	(火)	コウノトリ孵化する(2卵目)
6月12日	(水)	コウノトリ孵化する(3卵目)
6月13日	(木)	大麦検査 1等17t、2等22t、種子更新1,650kg、クズ1,800kg
6月16日	(日)	3羽目のヒナ栄養不足による衰弱死する
6月18日	(火)	4卵目は早期における発育中止卵と判断する
6月23日	(日)	市民農園第1回草取り
6月27日	(木)	船形互助転作組合総会
6月28日	(金)	ふゆみず田んぼ協議会通常総会
7月2日	(火)	農業体験大豆播種活動に協力 船形水辺子ども農園にて
7月17日	(水)	小麦検査 1等108t クズ1,200kg
7月19日	(金)	大豆タチナガハ播種開始
7月21日	(日)	大豆の草抑制防除開始・市民農園自然観察会
7月23日	(火)	コウノトリ一般公開再開
7月26日	(金)	大豆タチナガハ播種終了、フクユタカ播種開始
7月27日	(土)	市民農園第2回草取り(ホタル観察会は雨天のため中止)
7月30日	(水)	大豆フクユタカ播種終了
7月31日	(木)	大豆の草抑制防除終了
8月2日	(金)	ヒナ1羽目巣立つ。性別判明1羽目オス、2羽目メス。
8月6日	(火)	大豆殺虫剤散布開始(1回目)
8月10日	(土)	ヒナ2羽目巣立つ。
8月21日	(水)	定時取締役会(第9期第1四半期事業報告、取締役の辞任、株式の譲渡承認請求)
9月1日	(日)	市民農園稲刈り
9月20日	(金)	大豆殺虫剤散布終了(3回目)
9月25日	(水)	江川米検査 2等279袋 3等11袋
9月29日	(日)	市民農園収穫祭
10月22日	(火)	農業体験薩摩芋収穫活動に協力 船形水辺子ども農園にて
11月6日	(水)	コウノトリ一斉捕獲(ヒナは非公開ケージで飼育)
11月13日	(水)	農業体験大豆収穫活動に協力 船形水辺子ども農園にて
11月28日	(木)	定時取締役会(第9期第2四半期事業報告、第9期上半期経営状況)
1月14日	(火)	稲わら堆肥散布開始
1月22日	(水)	大豆検査(タチナガハ) 2等17袋・3等640袋・加工用13袋
1月29日	(水)	大豆検査(フクユタカ) 3等726袋
2月1日	(土)	コウノトリと共生するシンポジウム2014協力及び参加
3月26日	(水)	定時取締役会(第9期第3四半期事業報告、取締役会規則の一部改定、第10期事業計画及び予算の承認、利益相反取引、コンバイン購入に係る融資)

第 9 期

決 算 報 告 書

平成 2 5 年 4 月 1 日 から

平成 2 6 年 3 月 3 1 日 まで

株 式 会 社 野 田 自 然 共 生 フ ァ ー ム

貸借対照表

商号 株式会社 野田自然共生ファーム

代表者 根本 崇

平成26年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	(106,425,297)	流 動 負 債	(50,505,454)
現 金 及 び 預 金	81,316,970	未 払 金	15,517,873
売 掛 金	91,594	未 払 費 用	2,247,813
た な 卸 資 産	13,269,995	未 払 法 人 税 等	592,300
未 収 入 金	11,515,538	未 払 消 費 税 等	224,600
未 収 還 付 法 人 税 等	231,200	前 受 金	27,145,222
		預 り 金	2,746,154
		仮 受 金	321,492
		賞 与 引 当 金	1,710,000
固 定 資 産	(228,812,348)	固 定 負 債	(4,965,000)
有 形 固 定 資 産	(228,718,408)	退 職 給 付 引 当 金	1,565,000
建 物	14,142,779	農 業 経 営 基 盤 強 化 準 備 金	3,400,000
構 築 物	9,840,240		
機 械 及 び 装 置	27,851,592		
車 両 運 搬 具	230,976		
工 具 、 器 具 及 び 備 品	1,356,434		
建 物 附 属 設 備	6,637,642		
土 地	168,658,745		
無 形 固 定 資 産	(50,000)		
保 証 金	50,000		
		負 債 の 部 合 計	55,470,454
		(純 資 産 の 部)	
投 資 そ の 他 の 資 産	(43,940)	株 主 資 本	(279,939,192)
出 資 金	10,000	1. 資 本	155,275,000
敷 金 ・ 入 会 金	10,000	2. 資 本 剰 余 金	(155,275,000)
長 期 前 払 費 用	23,940	(1) 資 本 準 備 金	155,275,000
		3. 利 益 剰 余 金	(30,610,808)
		(1) そ の 他 利 益 剰 余 金	(-30,610,808)
		繰 越 利 益 剰 余 金	30,610,808
		評 価 ・ 換 算 差 額 等	(0)
繰 延 資 産	(172,001)		
水 道 加 入 金	172,001	新 株 予 約 権	(0)
		純 資 産 の 部 合 計	279,939,192
資 産 の 部 合 計	335,409,646	負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	335,409,646

損益計算書

商号 株式会社 野田自然共生ファーム

平成25年4月1日から
平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
売 上 高			
農 産 物 売 上 高	12,004,776		
業 務 受 託 収 入	91,114,593		
市 民 農 園 収 入 等	1,097,660		
作 付 助 成 金 ・ 交 付 金 収 入	62,328,352	166,545,381	166,545,381
売 上 原 価			
期 首 た な 卸 高		0	
商 品 仕 入 高	284,533	284,533	
当 期 農 業 原 価		153,269,835	
合 計		153,554,368	
期 末 た な 卸 高		0	153,554,368
売 上 総 利 益			12,991,013
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費			
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		27,898,590	27,898,590
営 業 損 失			14,907,577
営 業 外 収 益			
受 取 利 息		2,869	
一 般 補 助 金 収 入		7,332,140	
受 取 配 当 金 入		80	
雑 収 入		14,706,658	22,041,747
営 業 外 費 用 却			
繰 延 資 産 償 却		86,000	86,000
経 常 利 益			7,048,170
特 別 利 益			
農 業 経 営 基 盤 強 化 準 備 金 戻		100,000	100,000
特 別 損 失			
固 定 資 産 売 却 損		78,414	
農 業 経 営 基 盤 強 化 準 備 金 繰		1,500,000	1,578,414
税 引 前 当 期 純 利 益			5,569,756
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		1,275,583	1,275,583
当 期 純 利 益			4,294,173

販売費及び一般管理費の計算内訳

平成 25 年 4 月 1 日 から
平成 26 年 3 月 31 日まで

(単位:円)

科 目	金 額
広 告 宣 伝 費	48,429
会 議 費	24,834
販 売 手 数 料	147,631
イ ベ ン ト 費 用	91,045
役 員 報 酬	7,680,000
事 務 員 給 与	9,724,703
従 業 員 賞 与	1,600,000
法 定 福 利 費	1,235,536
厚 生 費	46,628
退 職 金	155,000
減 価 償 却 費	163,735
賃 借 料 ・ リ ー ス 料	1,070,860
修 繕 費	80,000
事 務 用 消 耗 品 費	1,442,787
通 信 費	1,213,582
水 道 光 熱 費	234,757
租 税 公 課	212,540
接 待 交 際 費	75,059
備 品 消 耗 品 費	253,137
管 理 諸 費	1,010,587
図 書 費 ・ 研 修 費	811,562
交 通 費	371,049
雑 費	205,129
合 計	27,898,590

たな卸資産の計算内訳

平成 26 年 3 月 31 日 現在

(単位:円)

科 目	金 額
農 産 物	934,138
原 材 料	41,905
未 収 穫 農 産 物	10,099,779
貯 蔵 品	2,194,173
合 計	13,269,995

農 業 原 価 報 告 書

平成 25 年 4 月 1 日 から
平成 26 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目	金 額
材 料 費	
期首材料たな卸高	0
種 苗 費	1,786,781
合 計	1,786,781
期末材料たな卸高	41,905
当期材料費	1,744,876
労 務 費	
賃 金	51,982,854
賞 与	6,358,500
退 職 金	205,000
法定福利費	9,019,791
厚生費	1,653,177
当期労務費	69,219,322
経 費	
肥料費・農薬衛生費	6,492,670
外注作業費	1,389,673
電力費	2,626,269
軽灯油等燃料費	12,327,621
運賃	230,000
減価償却費	11,422,139
修繕費	16,583,348
租税公課・負担金	821,700
賃借料・リース料	23,550,434
共済掛金・保険料	1,720,141
諸 資 材 費	4,246,564
農 具 費	315,676
交 通 費	1,702,970
図書費・研修費	180,743
車両関係費	758,368
土地改良費・水利費	2,255,835
雑 費	728,702
当期経費	87,352,853
当期総農業費用	158,317,051
期首農産物等棚卸高	5,986,701
合 計	164,303,752
期末農産物等棚卸高	11,033,917
当期農業原価	153,269,835

監査報告書

株式会社野田自然共生ファームの第9期(自平成25年4月1日至平成26年3月31日)貸借対照表、損益計算書及び附属明細書について監査した結果、いずれも会社法の規定に準拠し、適正に処理されていると認めました。

平成 26 年 5 月 2 日

監査役 泉林 徹 

第10期 事業計画

自 平成26年4月 1日

至 平成27年3月31日

江川地区において、自然と共生する環境保全型農業を推進するため、引き続き休耕田の復田作業や減農薬による水稻の生産を行うとともに、水田型市民農園及び自然環境維持管理業務など、更に自然と共生する農業を推進してまいります。

船形地区においては、生産調整事業である麦及び大豆の生産・販売を行ってまいります。

農業受託事業としては、小船橋水辺公園の管理業務、コウノトリ飼育及び施設管理業務、東葛飾地域農林業センターの管理業務等、野田市の農業関係施設の管理業務を行ってまいります。

なお、農業経営については、引き続き効率的経営に努め、安定経営を目指してまいります。

1 江川地区の農業事業

(1) 復田作業

水稻生産予定区域において復田作業を実施する。

- 1) 作業計画面積 約 0.1ヘクタール
- 2) 作業内容 ①除草・集草作業・抜根作業
②水路の整備作業
③均平・整地作業
④畦畔取付作業

(2) 水稻生産

- 1) 生産目標面積 約 9.6ヘクタール（市民農園圃場含む）
- 2) 目標収穫量 約 25トン

(3) 市民農園の実施

面積 約 2.1ヘクタール

(4) エコロジカルネットワークへの取組

- コウノトリ野生復帰計画への全面的協力
- 水路整備（魚道）
- 里地里山の保全

(5) 冬期湛水

環境と調和のとれた農業を実施するため、2.2ヘクタールにおいて環境保全型農業を行ってまいります。

(6) 保全管理

当社管理地について約47.3ヘクタールの環境保護のため適切な管理を行ってまいります。

2 コウノトリ飼育事業

野田市において平成24年12月4日から飼育を開始した国の特別天然記念物コウノトリについて、平成25年度は5月に産卵、6月に孵化、と順調に飼育をしてまいりました。平成26年度も継続して飼育管理等を受託しようとするものです。

3 船形地区の農業事業

(1) 農業調整事業

生産調整事業である麦及び大豆の生産・販売については、千葉県東葛飾農業事務所の協力を得て、栽培基準に基づき作業管理を行うとともに、従業員の研修を通し、栽培技術のレベルアップと平準化を図り、品質及び収穫量の向上に努めてまいります。

品質及び収穫量の向上		
適期作業の励行	気象条件と作業適期の検討	随時
土壌検査	地力、施肥量の把握	年1回
研修会	社内外研修会	年4回程度
販売の拡大		
小売販売	販売店舗の拡大・ネットワークの活用	
生産目標		
麦の生産目標 (平成26年11月播種予定)	作付面積 61ヘクタール 大麦(カシマムギ) 12ヘクタール 小麦(さとのそら) 49ヘクタール 目標収穫量 141トン 大麦 27トン 小麦 114トン	
大豆の生産目標 (平成26年7月播種予定)	作付面積 33ヘクタール タチナガハ 19ヘクタール フクユタカ 14ヘクタール 目標収穫量 55トン タチナガハ 30トン フクユタカ 25トン	

○26年度撒き、種子更新分については、別途購入いたします。

4 農業受託事業

(1) 小船橋水辺公園管理業務

市民の憩いの場として気軽に利用できる施設管理を次のとおり行ってまいりました。平成26年度も継続して管理を受託しようとするものです。

園内の管理		
除草・芝刈	雑草の除草作業と芝生の刈取り	年2回
高木の剪定	枝の剪定と整枝作業	年1回
園内の清掃	駐車場、トイレ、園路の清掃	週2回
公園の巡回	いたづら防止等園内の巡回	週2回

(2) 自然環境維持管理業務

自然環境調査、自然観察会における指導、自然に配慮した農園の維持管理作業、自然環境を考慮した米作りの実施、及び補完作業を行ってまいりました。平成26年度も野田市が策定している江川地区の「自然環境保護対策基本計画」に基づき受託しようとするものです。

(3) 農業関係施設の運營業務

ア 野田市堆肥センター運營業務

廃棄物の発生抑制、再利用を促進し、剪定枝、刈草、落葉を活用して良質な堆肥を生産し、化学肥料の減量等による環境保全型農業を推進することにより、付加価値のある持続性の高い農業を展開するための施設の運営管理、もみ殻と牛ふんを使った有機肥料の生産と運搬散布、また、新たに稲わら牛ふん堆肥の運搬散布を行い、市独自の有機肥料を使って生産した農作物のブランド化を推進するため適切な施設管理を行ってまいりました。平成26年度も継続して運営を受託しようとするものです。

イ 東葛飾地域農林業センター施設管理業務

地域の農林振興を図るため、農林業者の研修、後継者の育成並びに交歓、相談等地域農林業の向上と自主性を図るとともに、農林業諸施策を円滑に推進するため適切な施設管理を行ってまいりました。平成26年度も継続して施設管理を受託しようとするものです。

(4) 休耕地草刈委託業務

希少生物の保護を目的として休耕地の草刈等について、平成26年度も継続して受託しようとするものです。

第10期 予算(案)

自 平成26年4月 1日
至 平成27年3月31日

単位：千円

収入				支出				
項目	予算額			項目	予算額			
	第9期	第10期	比較		第9期	第10期	比較	
農業生産売上	57,326	53,007	-4,319	①農業製造原価	177,405	167,762	-9,643	
水稻売上	4,040	4,040	0	(1) 材料費	270	270	0	
麦売上	2,020	2,020	0	(2) 労務費	35,959	32,288	-3,671	
大豆売上	3,560	3,600	40	(3) 農業経費	49,704	43,621	-6,083	
市民農園売上	700	700	0	(4) 小船橋水辺公園管理	1,033	1,063	30	
経営所得安定対策等(国)	47,006	42,647	-4,359	(5) 自然環境維持管理経費	4,180	4,189	9	
農業受託売上	99,624	99,841	217	(6) 堆肥センター運営業務	69,708	69,780	72	
受託業務	小船橋水辺公園管理	1,267	1,302	35	(7) 休耕地草刈	168	168	0
	自然環境維持管理業務	4,300	4,306	6	(8) コウノトリ飼育等委託業務	16,383	16,383	0
	堆肥センター運営業務	73,014	73,354	340	②販売及び一般管理費	19,501	19,922	422
	(堆肥センター)	37,988	37,241	-747	(1) 農林業センター	2,010	2,079	69
	(もみ殻施設)	35,026	36,113	1,087	(2) 旅費	100	86	-14
	農林業センター運営業務	2,010	2,079	69	(3) 広告宣伝費	109	54	-55
	休耕地草刈	176	181	5	(4) 会議費	50	29	-21
	コウノトリ飼育等委託業務	17,315	17,739	424	(5) 販売手数料	140	154	14
冬季湛水水田管理委託	1,542	880	-662	(6) イベント費用	66	98	32	
補助金収入	15,638	15,080	-558	(7) 役員報酬	7,950	7,950	0	
県+市補助金	7,833	8,030	197	(8) 事務員給与	3,726	4,649	923	
市補助金	4,818	4,590	-228	(9) 法定福利費	826	776	-50	
転作定着化促進事業	248	150	-98	(10) 厚生費	76	114	38	
地上防除奨励金薬剤購入補助金	2,739	2,310	-429	(11) 減価償却費	157		-157	
土地売買	0	0	0	(12) 賃借料・リース料	960	1,032	72	
雑収入	13,800	13,800	0	(13) 事務用消耗品費	466	821	355	
補償料等	13,800	13,800	0	(14) 通信費	1,005	850	-155	
				(15) 水道光熱費	71	73	2	
				(16) 租税公課	57	58	1	
				(17) 接待交際費	90	35	-55	
				(18) 備品・消耗品費	198	124	-74	
				(19) 管理諸費	648	481	-167	
				(20) 図書費・研修費	495	113	-382	
				(21) 交通費	170	241	71	
				(22) 雑費	131	105	-26	
小計	186,388	181,728	-4,660	小計	196,906	187,684	-9,222	
				③退職金積立金	395	365	-30	
資本金・資本準備金	21,363	14,366	-6,996	④機械購入費	10,450	8,045	-2,405	
小計	21,363	14,366	-6,996	小計	10,845	8,410	-2,435	
合計	207,751	196,094	-11,657	合計	207,751	196,094	-11,657	